

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：DMB シアル酸ラベリングキット
製品番号：LT-KDMB-A1, LT-KDMB-12, LT-KDMB-96（メーカー略号: LUD）
構成品名：2M Acetic acid
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(血液、呼吸器系)

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害(血液、呼吸器系)

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
酢酸	12	64-19-7	2-688

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管**安全な保管条件**

施錠して保管すること。-20℃で保存すること。

容器を密閉して、涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度及び濃度基準値**

(酢酸)

濃度基準値 STEL: 15ppm

許容濃度**日本産業衛生学会**

(酢酸)

10ppm; 25mg/m³

ACGIH

(酢酸)

TWA: 10ppm; STEL: 15ppm (上気道及び眼刺激; 肺機能)

ばく露防止**設備対策**

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具**呼吸用保護具**

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体
色：無色
臭い：刺激臭
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
酸化性物質、塩基と激しく反応する。一部の金属に腐食性を示す。
避けるべき条件
直射日光、熱
混触危険物質
酸化性物質、アルカリ性物質、金属、アミン、アルコール
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(酢酸)
ラット LD50: 3310 mg/kg (出典: NITE)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(酢酸)
ウサギ LD50: 1060 mg/kg (出典: NITE)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (血液、呼吸器系) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 65000 μ g/L (出典: NITE)

水溶解度

(酢酸)

混和する (出典: ICSC, 2010)

残留性・分解性

[成分データ]

(酢酸)

急速分解性あり (分解度: 74% (by BOD)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(酢酸)

log Pow: -0.17 (出典: NITE)

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：2790
品名(国連輸送名)：酢酸溶液、濃度が10質量%を超え50質量%未満のもの
国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8
容器等級：III
指針番号：153

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類) 酢酸

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法：腐食性物質 分類8
航空法：腐食性物質 分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険/有害物
酢酸(規則別表第2の592)
名称等を通知すべき危険/有害物
酢酸(規則別表第2の592)
腐食性液体(規則第326条)
酢酸
皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
酢酸
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報**参照文献及び情報源**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版(2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告(2024年度)(日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：DMB シアル酸ラベリングキット
製品番号：LT-KDMB-A1, LT-KDMB-12, LT-KDMB-96（メーカー略号: LUD）
構成品名：Mercaptoethanol in Acetic acid
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4
急性毒性(経皮): 区分 3
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(血液、呼吸器系)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
皮膚に接触すると有毒
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
臓器の障害のおそれ(血液、呼吸器系)
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：β-メルカプトエタノール, チオグリコール(2-メルカプトエタノール)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
酢酸	8	64-19-7	2-688
2-メルカプトエタノール	5.0	60-24-2	2-458

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

2-メルカプトエタノール

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸，

2-メルカプトエタノール(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸，

2-メルカプトエタノール(令和8年4月1日施行)

化管法「第2種指定化学物質」該当成分

2-メルカプトエタノール

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

毒性を有する製品。医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。-20℃で保存すること。

容器を密閉して、涼しく換気のよい場所に保管すること。

物理的衝撃から保護すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。
安全な容器包装材料
本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び濃度基準値

(酢酸)

濃度基準値 STEL: 15ppm

許容濃度

日本産業衛生学会

(酢酸)

10ppm; 25mg/m³

ACGIH

(酢酸)

TWA: 10ppm; STEL: 15ppm (上気道及び眼刺激; 肺機能)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色

臭い：特異臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：4.0-6.0

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱、火気

混触危険物質

酸化性物質、アルカリ性物質、金属、アミン、アルコール

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

ラット LD50: 3310 mg/kg (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

ラット LD50: 244 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[製品]

区分 3, 皮膚に接触すると有毒

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

ウサギ LD50: 1060 mg/kg (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

ウサギ LD50: 150 mg/kg (出典: NITE)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

区分 2 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

区分 2 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

区分 1 (血液、呼吸器系) (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

区分 2 (中枢神経系) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(2-メルカプトエタノール)

区分 2 (肝臓) (出典: NITE)

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(酢酸)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 65000 μ g/L (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: 0.4 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(酢酸)

混和する (出典: ICSC, 2010)

(2-メルカプトエタノール)

混和する (出典: ICSC, 1997)

残留性・分解性

[成分データ]

(酢酸)

急速分解性あり (分解度: 74% (by BOD)) (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

急速分解性なし (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(酢酸)

log Pow: -0.17 (出典: NITE)

(2-メルカプトエタノール)

log Pow: -0.3 (出典: ICSC, 1997)

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 汚染容器及び包装
 - 容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。
 - 地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 2922

品名(国連輸送名): その他の腐食性液体、毒性、N.O.S.(酢酸, 2-メルカプトエタノール含有液)

国連分類(輸送における危険有害性クラス): 8

副次危険 : 6.1

容器等級 : III

指針番号: 154

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当): 該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類同等) 2-メルカプトエタノール

有害液体物質(Z類) 酢酸

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法の規定に従う。

船舶安全法 : 腐食性物質 分類8

航空法 : 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条)

2-メルカプトエタノール(5%)(法令番号 100の17)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

酢酸(規則別表第2の592);

2-メルカプトエタノール(規則別表第2の2196,令和8年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険/有害物

酢酸(規則別表第2の592);

2-メルカプトエタノール(規則別表第2の2196,令和8年4月1日施行)

腐食性液体(規則第326条)

酢酸

皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)

酢酸

化学物質管理促進(PRTR)法

第2種指定化学物質

2-メルカプトエタノール(5.0%)(管理番号820)

消防法 : 非該当

化審法 : 非該当

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
許容濃度等の勧告 (2024年度) (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：DMB シアル酸ラベリングキット
製品番号：LT-KDMB-A1, LT-KDMB-12, LT-KDMB-96（メーカー略号: LUD）
構成品名：Sodium Dithionite
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

自己発熱性化学品: 区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2A

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

自己発熱: 火災のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

涼しいところに置くこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

保管

積荷又はパレット間に隙間をあけること。

日光から遮断すること。
指定数量以上の大量品は、指定温度以下の温度で保管すること。
隔離して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

自己発熱性があり、火災の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：亜二チオン酸ナトリウム

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
ハイドロサルファイトナトリウム	< 100	7775-14-6	1-504

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

ハイドロサルファイトナトリウム(令和8年4月1日施行)

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

ハイドロサルファイトナトリウム(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

粉末消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**特有の消火方法**

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - 回収が終わるまで十分な換気を行う。
 - 適切な保護具を着用する。
 - 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
 - 環境中に放出してはならない。
 - 下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 皮膚や眼との接触や吸入を避けること。
- 粉じんやエアロゾルの生成を避けること。

安全取扱注意事項

- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 涼しいところに置くこと。積荷又はパレット間に隙間をあけること。
- 指定数量以上の大量品は、指定温度以下の温度で保管すること。
- 20℃で保存すること。(50℃を超えると密閉容器内でガスが発生する。) 過度の圧力を避けること。
- 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

(避けるべき保管条件)

- 日光から遮断すること。
- 隔離して保管すること。

安全な容器包装材料

- 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び濃度基準値

- 設定されていない

許容濃度

- 設定されていない

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：結晶性粉末
色：白色
臭い：データなし
融点/凝固点：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：(ハイドロサルファイトナトリウム)(O.C.) > 100°C
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
水に対する溶解度：溶ける (25 g/100 ml, 20°C)
溶媒に対する溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：log Pow < -4.7
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：2.4 g/cm³
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
高温(50°Cを超えるとガスが発生する)
過度の圧力(破裂の危険性がある)
混触危険物質
酸、強酸化性物質、水
危険有害な分解生成物
硫黄酸化物、ナトリウム酸化物

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[NITE-CHIRP]
(ハイドロサルファイトナトリウム)
ラット LD50: 2500 mg/kg (出典: NITE)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ハイドロサルファイトナトリウム)

区分 2 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2A, 強い眼刺激

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ハイドロサルファイトナトリウム)

区分 2A (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(ハイドロサルファイトナトリウム)

魚類 (コイ) 96時間 LC50: 63.2 mg/L (出典: NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

[NITE-CHRIP]

(ハイドロサルファイトナトリウム)

藻類 (*Scenedesmus subspicatus*) 72時間 NOEC (生長速度): 62.5 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(ハイドロサルファイトナトリウム)

25 g/100 mL (20°C) (出典: ICSC, 2008)

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性

[成分データ]

(ハイドロサルファイトナトリウム)

log Pow: < -4.7 (出典: ICSC, 2008)

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1384
品名(国連輸送名)：亜ジチオン酸ナトリウム(ナトリウムハイドロサルファイト)
国連分類(輸送における危険有害性クラス)：4.2
容器等級：II
指針番号：135

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法：可燃性物質類 自然発火性物質 分類4 区分4.2
航空法：可燃性物質類 自然発火性物質 分類4 区分4.2

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険/有害物
ハイドロサルファイトナトリウム(規則別表第2の67,令和8年4月1日施行)
名称等を通知すべき危険/有害物
ハイドロサルファイトナトリウム(規則別表第2の67,令和8年4月1日施行)
別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)
危険物・発火性の物
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版(2025年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
JIS Z 7252: 2019
JIS Z 7253: 2019
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：DMB シアル酸ラベリングキット
製品番号：LT-KDMB-A1, LT-KDMB-12, LT-KDMB-96（メーカー略号: LUD）
構成品名：1, 2-Diamino-4,5-methylenedioxybenzene
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置

気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：MDB

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
1, 2-Diamino-4,5-methylenedioxybenzene	< 100	81864-15-5	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防じんマスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡及び保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。-20℃で保存すること。光を避けること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

設定されていない

ばく露防止

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：ベージュ

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、塩化水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの
防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ
て改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取
扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は
当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品
の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：DMB シアル酸ラベリングキット
製品番号：LT-KDMB-A1, LT-KDMB-12, LT-KDMB-96（メーカー略号: LUD）
構成品名：①N-acetylneuraminic acid
②N-glycolylneuraminic acid
③Sialic Acid Reference Panel
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

（注）記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分：< 100% N-acetylneuraminic acid(CAS RN[®]: 131-48-6)(①)、
< 100% N-glycolylneuraminic acid(CAS RN[®]: 1113-83-3)(②)、
< 100% Sialic Acid Reference Panel(CAS RN[®]: N/A)(③)

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

- 使ってはならない消火剤
 - データなし
- 特有の危険有害性
 - 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火を行う者の保護
 - 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - 回収が終わるまで十分な換気を行う。
 - 適切な保護具を着用する。
 - 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
 - 下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策
 - (取扱者のばく露防止)
 - 皮膚や眼との接触や吸入を避けること。
 - 安全取扱注意事項
 - 取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。
 - 接触回避
 - 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 - 衛生対策
 - 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。
- 保管
 - 安全な保管条件
 - 20℃で保存すること。容器を密閉しておくこと。
 - 安全な容器包装材料
 - 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度及び濃度基準値
 - 設定されていない
- 許容濃度
 - 設定されていない
- ばく露防止
 - 設備対策
 - 洗眼設備・安全シャワーを設けること。
- 保護具
 - 呼吸用保護具
 - 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
 - 手の保護具
 - 保護手袋を着用する。
 - 眼の保護具
 - 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具
 - 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粉末
色：データなし
臭い：データなし
融点/凝固点：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
溶解度：水に可溶
n-オクタノール/水分配係数：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
熱、湿気
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性：データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし
誤えん有害性：データなし
潜在的な健康への影響：吸入や接触、摂取により皮膚、眼、呼吸器系に刺激やアレルギー反応を起こすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性：データなし
土壤中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。